

◆サミットに参加した  
こどものまち◆

名称	所在地	開始年
ミニミュンヘン	独・ミュンヘン	1979
ミニたまゆり	川崎市麻生区	2005
ミニカワサキ	川崎市高津区	2018
ミニヨコハマシティ	横浜市	2007
ミニさくら	千葉県佐倉市	2002
ミニ☆いちかわ	千葉県市川市	2003
ミニいちかわ	千葉県市川市	2003
わかばCBT こどものまち	千葉市若葉区	2015
こども四日市	三重県四日市市	2004
ミニかさ横丁	岐阜県笠松町	2012
MiniMi~no	大阪府箕面市	2022

こどものまちのサミットで意見を交わす「市長」ら—いずれも麻生区で



子どもたちが仮想の街を企画・運営するイベント「こどものまち」。発祥の地のドイツ・ミュンヘンや日本各地の「市長」らが集結する「サミット」が川崎市麻生区で開催され、ミュンヘンと麻生区の「まち」の間で姉妹都市提携が結ばれた。日本に「まち」が誕生してから20年以上がたち、全国350カ所以上に拡大。関係者らは、世界の子どもたちをつなぐ懸け橋になることを目指している。

（佐藤圭）

「世界子ども×地域合衆 16、17の両日、同区のごとくサミット」会場の田園調 ものまち「ミニたまゆり」布学園大（麻生区）では、が繰り広げられ、計9000

# 「こどものまち」世界の懸け橋に

## 麻生で「サミット」全国の「市長」参加

人が参加した。2005年以降、コロナ禍で中止した21年などを除いて原則毎年1回開催され、今年で18回目を迎えた。

まちは子どもたちが運営する市役所や職業案内、税務署、新聞社、宅配便のほか、ゲームコーナーや飲食店などが並ぶ。市役所で参加費500円を支払うと市民に登録され、市民カードと仮想通貨「ユリ」を受け取る。職業案内で仕事を運び、ユリを稼いだり買いたい物を楽しんだりできる。

これと似たような疑似体験の仕組みが、各地の「まち」でも導入されている。

6月から準備を進めてきた市長の小学5年生高橋諒さん（11）は「自分の提案が実現できるのがいい。ほくもフードバンクが採用された。みんなが楽しんでくれてうれしい」と笑顔を見せた。

顔を見せた。サミットは17日午後10時、日本各地のこどものまちの市長ら10人のほか、「ミニミュンヘン」代表のアメリア・ロウロ・アルウエスグロッティさん（14）とコンスタンティン・ハルトンさん（13）、戦禍のウクライナから日本に避難中のダニエル・ザホロドニクさん（16）が出席した。サミットの開催は、昨年10月の東京都大田区に続いて2回目だが、今回は初めてミュンヘンの代表を招いた。

ミニミュンヘンは、1979年に国際児童年を記念してスタート。2年に1度、夏休み期間中の3週間、室内のアリーナと屋外の公園を会場に実施され、1日当たり2千〜3千人の子どもたちが訪れる。アメリカさんらは企画チームの中心メンバー。サミットで

最後はミニたまゆりの高橋さんが「未来共創声明」を発表。「大人の皆さん、子どもの意見を耳を傾けるだけでなく、対等な立場で議論し、持続可能な未来を一緒につくっていきましょう」と呼びかけた。

サミット終了後、ミニミュンヘンとミニたまゆりの姉妹都市提携の調印式が行われ、アメリカさんと高橋さんが調印書に署名した。両者は今後、市長の交流訪問や交流プログラムの開発などに取り組む。

サミット事務局の責任者で田園調布学園大教授の番匠一雅さん（54）は「こどものまちでの経験は、社会人になってからも役に立つ。サミットをきっかけに、世界や日本に活動を広げていきたい」と話している。

## 発祥の地 独・ミュンヘンと姉妹都市に

は「環境問題などの共通ルールを作ることで、世界のこどものまちがつながることができる」と提案した。ダニエルさんは昨年、ミニたまゆりの副市長として活動した。「ウクライナでもこどものまちを実現させたい」と訴えた。

日本側は、ミニたまゆりのほか、国内で最も歴史の古い「ミニさくら」（千葉県佐倉市）、来年の第3回サミットでホストタウンを務める予定の「MiniMiino（ミニミノー）」（大阪府箕面市）の市長らが、それぞれの活動を紹介した。



④宅配便の仕事体験する子どもら  
⑤姉妹都市提携の調印書を手に笑顔を見せるミニたまゆりの高橋諒さん（右から2人目）とミニミュンヘンの代表り

田園調布学園大学 Den-en University

田園調布学園大学 Den-en University